

bn zoo

Tobe Zoological Park of Ehime Pref.

2026

Vol-37

No.4



目次

例会報告	3
ZOO ダイアリーグラフ	4
飼育レポート	6
わたしの野帳	10
動物病院から	11
動物園のなにげない一日	12
動物園再発見	14
Keeper's Note	16
ルトラー誕生ヒストリー	17
会員のページ	18
職員紹介	20
読者投稿用紙	21
ルトラーをさがせ	23

—表紙説明—

■ボルネオオランウータン

英名：Bornean Orangutan

学名： *Pongo pygmaeus*

ボルネオ島の熱帯雨林に生息し、木の上で生活する樹上性の動物です。長い腕で木から木へと移動し、夜には木の上で枝を折り曲げたり、葉を使ってベッドを作って寝ています。主に果実や葉、樹皮、昆虫などを食べます。特徴は、全身赤茶色の毛で覆われており、成熟したオスにはフランジ（頬の肉が張り出したもの）が発達することがありますが、これは一番優位で自分は強いと認識したオスにのみあるものです。

人に最も近いと言われる類人猿の仲間で、「森のヒト」という名前が付くほど知能が高く、飼育下でも様々な行動、遊びを見せてくれるためとても人気がある動物です。

昨年、インドネシア共和国の動物園「タマンサファリ インドネシア」から、メスのジェニファーがやってきました。オスのハヤトと仲良くなり、繁殖に結びつくことが期待されています。あたたかく2頭を見守ってくださいね。

（写真：横手 凱・文：村上 ひなの）



愛媛動物友の会 例会の報告

12月例会

12月21日

もうすぐウマ年！

～ウマのお話と工作～

12月例会当日は、あいにくの雨模様となりましたが、なんとか小降りになり、個人会員9名、家族会員6組14名、計23名の会員の皆さまにご参加いただき、無事に開催することができました。

はじめに園長よりあいさつと近況報告がありました。ホッキョクグマのピースが26歳を迎えることができたという嬉しい話題の一方で、近年の入園者数減少については、今後の集客に向けたアイデアを皆さんと一緒に考えていきたいという話もありました。また、12月11日にボルネオオランウータンのジェニファーがインドネシア共和国から来園したことや、今年一年の動物たちの増減についての報告もありました。最後には、2026年が午年であることから、「すべてが“うま”くいく年になるように」の言葉で締めくくりました。

続いて里永指導部長より、ふれあいセンター1階で開催中の干支展に関連したウマに関するレクチャーがありました。2026年の午年は「丙午（ひのえうま）」にあたることや、十二支と十干を組み合わせると干支が成り立っていることなど、少し難しい内容もありましたが、とても興味深く楽しみながら学ぶことができました。特に、「丙午」はエネルギーな年とされているそうです。他にも、とべ動物園で飼育されているグラントシマウマ、ポニー、ノマウマの紹介や、日本には8種類の在来馬がいることについての紹介もありました。



干支や丙午について知っていただけましたか？

その後は、蹄鉄の形をしたリース作りを行いました。蹄鉄の形に切ったダンボールに毛糸を巻き付け、ビーズやどんぐり、南天の葉などで飾り付けをしていきます。毛糸を巻く作業が少し難しかったためか皆さん黙々と取り組んでおり、楽しんでもらえているのだろうか…と不安にもなりましたが、終盤には「楽しい」「かわいく仕上がった」「個性が出てとても良い」といった声が聞かれてほっとしました。せっかくならクリスマスソングをBGMで流したらよかったかな…と振り返りもしました。出来上がってみると、参加者それぞれの工夫が光る素敵なリースが完成していました。



みなさん、黙々と
毛糸をまきつけていました



素敵なリースがたくさんできました！

最後はノマウマの展示場へ移動し、担当キーパーによるガイドを行いました。ノマウマが古くから人とともに生きてきた馬であることを知り、「これからも大切に守っていききたい」と感じた参加者も多かったようです。ノマウマについてのさまざまな話から楽しく学びの多い時間となっていれば幸いです。

(山崎 洋介)

ZOOダイアリーグラフ

2025.11.1~2026.1.31

飼育員にチャレンジ！ 11月23日、29日

飼育員のお仕事体験イベントが開催されました。一輪車や熊手などの飼育員のお仕事アイテムを使った種目や、動物のエサにまつわるクイズに挑戦していただきました。気分はすっかりキーパー？



楽しんでもらえたかな？

ピース 26 歳の誕生日会 12月6日

ホッキョクグマのピースが 26 歳を迎え、誕生日会を開催しました。今年も河原学園の皆さんが素敵な氷のケーキを作ってくれました！大勢の人がお祝いに駆けつけて下さり、本当にありがとうございました。



ピースもケーキを堪能！
素敵な会になりました！



ピースの放飼場にて。フルーツ盛りだくさん！

ジェニファーがやってきた！ 12月11日

ボルネオオランウータンのジェニファー（♀14 歳）がインドネシア共和国にある動物園、「タマン サファリ インドネシア」から、長旅を終えて無事に到着しました！オランウータンは絶滅の危機に瀕しており、今回の搬入は種の保存のための国境を越えた取り組みによるものです。今後、オスのハヤトとの展開が楽しみです！



とべ動物園にも
慣れてきたかな？
ジェニファー、
これからよろしくね！

名前入りの
特製輸送箱で到着！
がんばったね。



【毎月のガイド】

- ・毎日「ペンギンのお食事タイム」
- ・毎日「テンジクネズミのひみつみーつけた！」
- ・毎土・日曜日・祝日「ヒボヒボランチ」(有料)
- ・毎土・日曜日・祝日「ソウ様のランチ」(有料)
- ・毎日曜日「キリンの瞳に大接近」(有料)
- ・毎日曜日「ZOO タイム 1130」
- ・第2土曜日・第4日曜日「ボランティアガイド」
- ・第3木曜日「まったりお散歩」

*有料ガイドのチケット販売は管理事務所で行っています。

*動物の体調や天候により中止することがあります。詳しくは当園HPをご覧ください。

出産報告

- 11月14日 インドホシガメ (不明 1)
- 11月29日 アカカンガルー (不明 1)
- 12月22日 アカカンガルー (不明 1)
- 1月 2日 アカカンガルー (不明 1)
- 1月 3日 アカカンガルー (不明 1)
- 1月26日 アカカンガルー (不明 1)



カンガルーは
ベビーラッシュ!



人工哺育中のミラ (♀) も
順調に成長しています。

ミラ

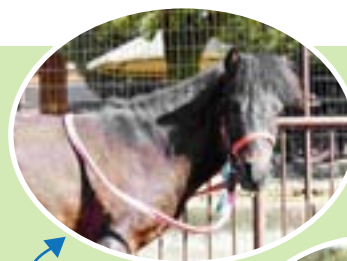
元気に
育ってね♪



搬入報告

- 11月17日 ノマウマ (♂1 ♀1) のまうまハイランドより来園
- ノマウマ (♂1 ♀1) のまうまハイランドへ搬出
- 11月28日 エランド (♀1) 東北サファリパークより来園
- 12月11日 ボルネオオランウータン (♀1)

タマン サファリ インドネシアより来園



太一

のどか



とべ動物園に来てくれた
エランドのココは、オスの
ビッツとの繁殖が期待されます。

在来馬であるノマウマは
「種の保存」のために個体
交換を行いました。

死亡報告

- 11月20日 ニホンザル (♂1)
- 12月 6日 マントヒヒ (♂1)
- 12月12日 ニホンザル (♂1)
- 12月13日 インドホシガメ (♀1)
- 12月22日 コロンビアクロクモザル (♀1)
- 1月 8日 アルダブラゾウガメ (♀1)
- 1月14日 カピバラ (♀1)
- 1月31日 テンジクネズミ (♂1)



クロは人工哺育で生育した
個体で、人が大好きでした。
道後動物園時代から動物園
を支えてくれたクロちゃん、
本当にありがとう。

ありがとう、やすらかに…

テンジクネズミの体調管理について

契約職員 大野 るあ



☆はじめに

とべ動物園では開園以来テンジクネズミの飼育をしていますが、2024年5月から10月までの約半年の間に7頭のテンジクネズミが死亡してしまいました。死因は心不全、循環不全などでしたが、それに至るまでの大きな要因の1つは過肥^{*}と考えられました。そこで過肥を予防するために給餌量の見直しを行うことにしました。



とべ動物園で暮らすテンジクネズミたち



♂は分離、♀と去勢♂は同居



タオルを使用している様子

☆テンジクネズミとは

テンジクネズミとはネズミ目（げっ歯目）テンジクネズミ科の南米原産の動物で、皆様に親しみの深い名前は「モルモット」だと思います。日本では愛玩動物であり、ペットや展示動物として飼育されることが多いですが、現地では家畜でもあります。

・飼育環境

当園のテンジクネズミの獣舎は3部屋あり、それぞれ10頭前後の群れを飼育しています。さらに、高齢個体、怪我や病気の個体、雄個体は個別に飼育しています。群れの部屋の床材は、乾草（バミューダグラスとオーツヘイ）を敷き、その上にプラスチック製の隠れ家を置いています。個別で飼育している個体も同様で、床材に乾草を敷いています。怪我や病気の状態によっては、乾草ではなくタオルやマットなどを使用することもあります。

・給餌内容

床材も兼ねて不断給餌をしている乾草に加え、白菜やキャベツなどの葉野菜、サツマイモ、ニンジンなどの根菜、果物ではリンゴ、これらを適当な大きさに切って与えています。



切ったエサはこんな感じです（変更前）

*過肥：動植物が過剰に栄養を摂取して体に悪影響が出ている状態

表1. 死亡した個体と原因

名前	性別	年齢	死因（症状）	その原因	死亡日
モンブラン	メス	3歳	心不全（足底潰瘍、尿道結石）	過肥	2024年 7月 1日
ほっぺ	メス	4歳	循環器不全（足底潰瘍、尿道結石）	過肥、ストレス	2024年 7月 4日
アーモンド	メス	5歳	多臓器不全（尿道結石）	栄養の偏り、水分不足	2024年 7月 9日
しらたま	メス	6歳	腸重積（下痢）	環境	2024年 9月 3日
こはる	メス	1歳	心タンポナーデ（脇下しこり、食欲不振）	過肥、食欲不振	2024年 9月 5日
しろあん	メス	不明	妊娠中毒症（死産、食欲不振）	ストレス	2024年 9月24日
さくら	メス	0歳	妊娠中毒症（死産、食欲不振）	環境、ストレス	2024年10月 5日

☆死亡した個体と原因

死亡した個体と原因を表1に示しました。直接の死因は様々ですが、その多くを引き起こしたのは過肥だと思われます。また、その他の症状として足底潰瘍も多く見られました。これも、過肥によって足裏に負担がかかって発症する床ずれのようなものです。今現在も過肥の影響で足底潰瘍になっている個体が数頭おり治療をおこなっています。足底潰瘍を発症させないようにすることも今後の課題の1つです。



これが足底潰瘍です

☆給餌量の変更

過肥を予防するためにテンジクネズミの1日に必要な摂取量を計算して給餌量の変更を行いました。今までは、群れの頭数に合わせて目分量で分配して与えていましたが、1頭当たりの必要摂取量を算出し、頭数分の量を計って与えることにしました。尚、乾草の量は変更していません。そのうえで群れ飼育の個体の体重の変化を比較しました。当園の個体は

体重が1000g前後の個体が多いため、テンジクネズミの平均体重である700～900g程度を目安に体重の減量を試みました。表2に変更前と変更後の根菜類の給餌量を示しました。全頭の体重測定は1週間に一度行い、変動を調査しました。



個別飼育している個体



体重測定の様子

表2. 1日の根菜類の総給餌量

種類	1日量(変更前)	1日量(変更後)
白菜	4.0 kg	3.0 kg
キャベツ	1.5 kg	1.0 kg
小松菜	約 0.2 kg	火・木・土に約 0.2kg
ニンジン	0.3 kg	0.3 kg
サツマイモ	0.5 kg	0.3 kg
リンゴ	0.5 kg	0.3 kg



1頭あたりの量



群れの量

表3は、野菜 10g あたりのエネルギー量（以下：カロリー）をまとめたものです。カロリー自体はどれもあったより高くありませんが、与えている中ではサツマイモのカロリーが最も高く、給餌量の変更のポイントになりそうです。

表3. 10g あたりのカロリー

種類	カロリー (10g あたり)
白菜	1.3 kcal
キャベツ	2.3 kcal
小松菜	1.3 kcal
ニンジン	3.5 kcal
サツマイモ	12.7 kcal
リンゴ	5.6 kcal

2024 年 10 月 2 日、15 日、19 日に 1 頭当たりの給餌量の変更を行いました。徐々に量を減らしていき、最終的に 1 頭あたり 200g (49.1kcal) から 85g (20.0kcal) に減量しました (表 4)。最初に比

べると根菜類の総重量とカロリーの両方が半分以下になったことが分かります。

表4. 給餌量変更の推移

種類	～10月1日	10月2日	10月15日	10月19日
白菜	116g(11.6kcal)	50g(5.0 kcal)	50g(5.0 kcal)	50g(5.0 kcal)
キャベツ	43g(8.6kcal)	20g(4.0 kcal)	20g(4.0 kcal)	20g(4.0 kcal)
小松菜	5g(0.5kcal)	0g(0.0 kcal)	0g(0.0 kcal)	0g(0.0 kcal)
ニンジン	8g(2.5kcal)	5g(1.5 kcal)	5g(1.5 kcal)	5g(1.5 kcal)
サツマイモ	13g(16.9kcal)	10g(13.0kcal)	7g(9.1 kcal)	5g(6.5 kcal)
リンゴ	15g(9.0kcal)	5g(3.0 kcal)	5g(3.0 kcal)	5g(3.0 kcal)
計	200g(49.1kcal)	90g(26.5 kcal)	87g(22.6 kcal)	85g(20.0 kcal)

テンジクネズミの1日の採食量は、体重の6%ほどであり、ペレットで換算すると1日10～20g（ペレットによって摂取量は異なる）ほどです。

1日に必要な摂取カロリーは調べてもでてこなかったため、5種類のペレットの100gあたりのカロリー（表5）から20g分のカロリーを計算したところ、約50kcalとなりました。給餌量を変更する前も、与えているエサのカロリーは1日に必要な摂取カロリーよりも低かったのですが、給餌量を変更した後は元の摂取カロリーよりも半分以下になっているため体重減少の効果が期待できました。

表5. 5種類のペレットの比較

商品名	カロリー (100g あたり)
良質素材モルモットフード (日本ペットフード)	約 270 kcal
グルテンフリー 12 種類ブレンド (ナチュラハ)	約 250 kcal
モルモットプラス (三晃商会)	約 230 kcal
モルモットセレクション (イースター)	約 250 kcal
モルモットのきわみ (ハイペット)	約 270 kcal

図1は群れで生活する26頭について、エサの見直しを行う1か月前（2024年9月）と2025年2月で体重が減ったかどうかを比較したグラフです。26頭をトータルで見ると、約半数以上の個体の体重が減少していることが分かりました。

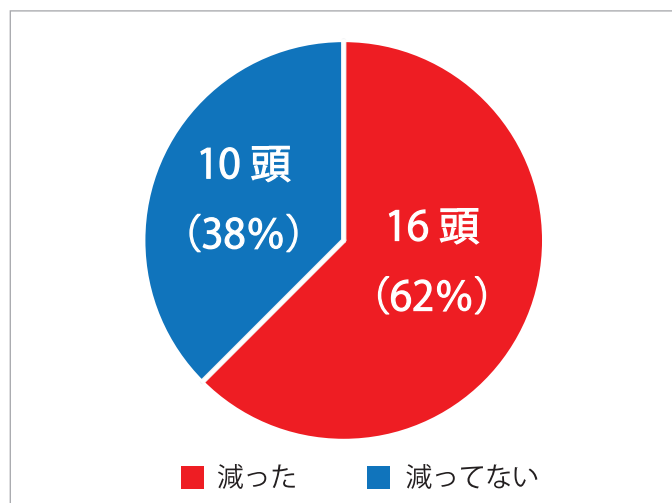


図1. 群れの体重変化

図2は群れ管理をしている一部の個体の体重変動グラフです。体重が減った個体、増えた個体、ほとんど変わらなかった個体がそれぞれいました。痩せやすい個体や太りやすい個体があったり、それぞれの個体の食べる量、群れでの序列なども関係しているのかもしれません。

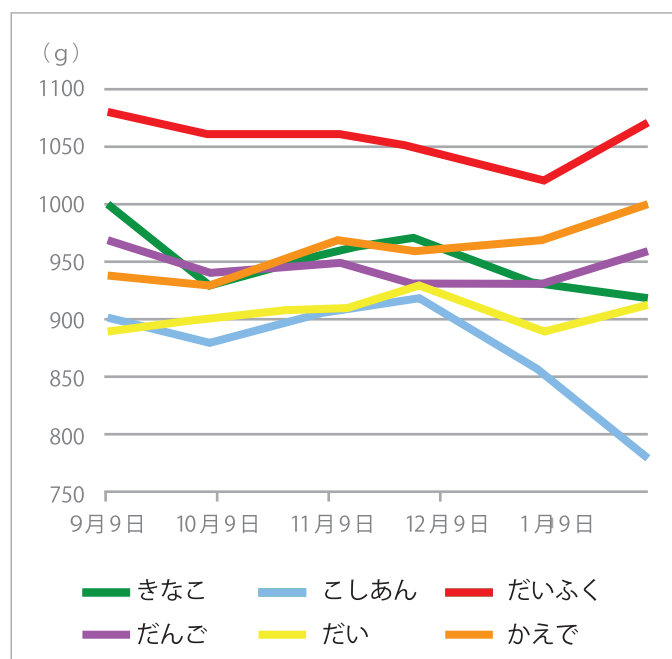


図2. 群れ管理個体6頭の体重変化

☆今後について

給餌量の見直しをすることで、約半数以上の個体の体重減少が見られました。しかし、管理場所ごとで給餌量を調節しているため、群れ飼育では1頭あたりの正確な採食量を把握しきれいていません。その結果、個別管理の個体と比べ、体重が減る個体もいれば、変わ

らない、または増えてしまう個体もありました。このことから、過肥個体の体重管理を行う場合は、個別管理への切り替えが必要であると再認識しました。

テンジクネズミやウマなどの後腸発酵を行う草食動物は、腸内の微生物の力で消化を行っています。そのため、急激な給餌量の制限は腸内環境を悪化させ、体調不良を引き起こしてしまう可能性があります。また、冬は脂肪を蓄える時期である一方、寒さをしのぐために活動量が増え、体重が増えにくい傾向もあります。こうした消化システムや季節的なことにも気を付けながら、今後も個体ごとの適正な健康状態を目指して、給餌量や内容の調節を行っていきたいです。



果物は人気ですが食べすぎは注意です

☆おわりに

個体数の多い動物園でのテンジクネズミの健康管理は、飼育環境の問題や群れでの序列など、難しい面も多々あります。個別の体重管理をはじめ、一頭一頭が健康に過ごせるように観察と工夫をこれからも続けていきたいと考えています。皆さまもとべ動物園にお越しの際は、テンジクネズミの個体識別にチャレンジしつつ、それぞれの個性の違いや変化を観察してみてくださいね。



テンジクネズミに会いに、是非ご参加ください



～ 愛媛のヘビを調べる ～

当園は、2006 年、2007 年に愛媛県が環境省からの依頼を受けて実施した「種の多様性調査」に参加しました。その際にヘビ類において里地・里山におけるモニタリング手法を検証・確立するという目的で調査を実施したので、その時のデータを野帳から引っ張り出してみました。調査地は東温市上林地区・井内地区です。

*ヘビ類はどうやって調べるの？

ヘビ類の調査方法は、①個体にマーキング（標識）した後、捕獲を繰り返して追跡する「標識一再捕獲法」②生息地を踏査し、目視確認や捕獲を行う「目視調査」③車で決めたルートを走行し、轢かれている個体（ロードキル）を確認する「ロードキル調査」などがあります。また調査に有効な期間は5月から10月、特に確認数が多いのが6月、7月と9月という結果が出ています。

表 1 は、②③の調査方法による確認種をまとめたものです。アオダイショウ、ヤマカガシ、シマヘビ、マムシの4種は、踏査とロードキルを調べることににより生息状況の把握ができますが、他の4種は調査の時期、時間帯、方法の再考が必要ではないかと思われます。図 1 は 2006 年上林での上位3種（アオ

ダイショウ、ヤマカガシ、シマヘビ）の月別確認数です。

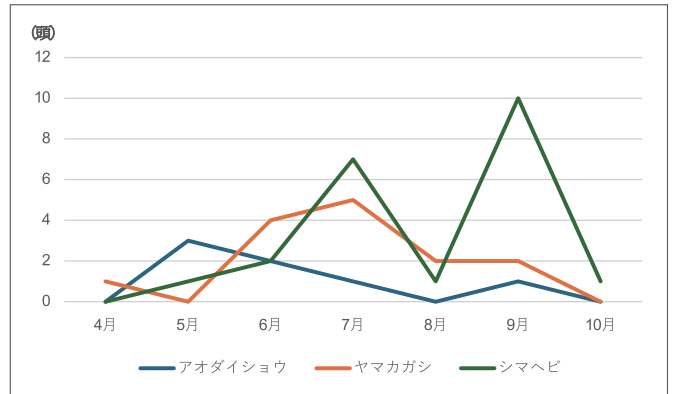


図1 上林地区での上位3種の月別確認数
(2006年)

*ヘビたちは増えているのか？減っているのか？ 未来は明るいのか？

上記の調査から約20年後にあたる、2025年6月に上林地区でロードキル調査を行ってみました。調査日は6月13日(小雨 10:30 気温21℃)、6月24日(小雨 14:00)、6月26日(雨 気温25℃)、6月30日(晴 9:00)の4回行いましたが、なんと1頭の確認もできませんでした。この結果だけでヘビが減っていると結論付けられませんが(例えば人口減で車がほとんど通行しなければ、ロードキルは起こりませんので、車両の通行量などの検証も必要です)、驚きの結果でした。



↑ロードキル被害にあった
ヒバカリ



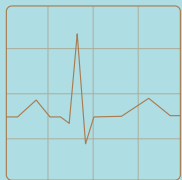
↑ロードキル対策の標識看板
(沖縄：やんばるで発見!?)

表 1 上林地区・井内地区における調査結果

	2006 年上林 踏査	2006 年上林 ロードキル	2007 年上林 踏査	2007 年上林 ロードキル	2007 年上林 踏査	2007 年上林 ロードキル
アオダイ ショウ	○	○	○	×	○	○
ヤマカガシ	○	○	○	○	○	○
シマヘビ	○	○	○	○	○	○
ジムグリ	○	○	×	×	×	×
ヒバカリ	×	○	×	○	○(死体)	○
シロマダラ	○(死体)	○	×	×	×	○
タカチホ ヘビ	×	×	×	×	×	○
マムシ	×	○	○	○	○	○

最後にトピックです！2026年9月24日に、クマ舎内でヤマカガシの幼蛇が確認、捕獲されました。これは園内での初確認で、四国で確認されている8種すべて(表1参照)が園内に生息していることが分かりました。私的にはとてもうれしいですが、皆さんの感想はいかがでしょう？なお8種の識別については、スネークハウスに詳しく展示していますので興味のある方はそちらを参考にしてくださいね。

(前田 洋一)



electrocardiogram

動物病院から

Lutra



medical record



syringe

アメリカバクの頬の治療

アメリカストリートでは、メスのユメとオスのムーンの2頭のアメリカバクを飼育しています。白黒ツートンカラーのマレーバクとは異なり、灰褐色単色でモヒカンのようなたてがみがあるのが特徴です。夏のある日、担当者からユメの左頬が腫れていると聞き、見に行くと写真のように腫れていました。



▲ ユメの左頬が腫れた様子

出血もなく触っても嫌がらないし、活力や食欲も問題ないとのこと。外傷や虫刺され、口腔内の炎症などを疑い、抗炎症剤や抗生剤の投薬をしていたところ、1週間ほど経ったところに患部に穴が開き、そこから膿が出てきました。おそらく小さな傷ができていて、そこから細菌が感染したものと推測されました。

患部から膿を出して内部を洗い、ドレッシング材(湿潤環境を保つことで治癒を促進させるもの)を患部に注入する処置を行うために、担当者と相談して、ブラッシングで横になっている間に行うことにしました。バクは背中や腹部、首やあごの線に沿って、こすったりなでられることが好きな個体が多く、ブラッシングを行うと横になってくれます。ユメは穏やかな性格で、それまでも定期的に担当者と一緒にブラッシングを行っていたものの、処置を行うとなればどういう反応をするのか分かりませんでした。そのため、ユメの反応を見ながら慎重に行うことにしました。

ブラッシングは寝室で行いますが、ポジショニングが難しく、横になったときに壁に当たらないように部屋の真ん中にユメを誘導しました。また、今回は左側の頬が腫れていたため、横になったときに左側が上に来るように、担当者にブラッシングをする部位を調整してもらいました。そして、いざ処置を行ったところ、ユメはあまり気にする様子もなく、無事に終わることができました。



▲ 処置の様子

その後も数日おきに処置を続けたところ、排膿もなくなり、腫れも引いていきました。現在のところ、再発もみられていません。ユメは現在28歳。飼育下での寿命は約30年とされているので、高齢の部類に入ります。今後も小さな変化にも気をつけて、サポートしていけたらと思っています。

(獣医師 桑原 祐子)



▲ 治療を終え元気に過ごすユメ



動物園の なにげない一日

～ 申し訳ありません ～

こども動物センターの鳥たち



1

ミントさんは
時々おしゃべりをしてくれます



2

いつもはお客さんと
楽しく過ごすミントさんですが…



3

しばらくの間、こども動物センター内の
事務室で過ごすことになりました

電話とか
かかってくるから
できるだけ
静かにしてね



4



ボウシインコのミントさんは1997年にとべ動物園にやってきました。人の笑い声や犬の鳴きマネなど、上手なレパトリーだけでなく、「アバター」や「アオバト」など、よくわからないことを言ったりもするユニークな鳥です。



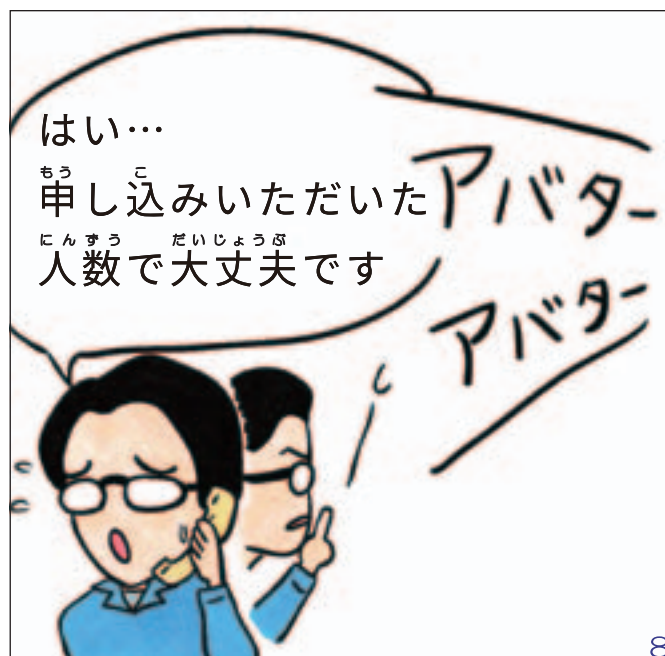
5



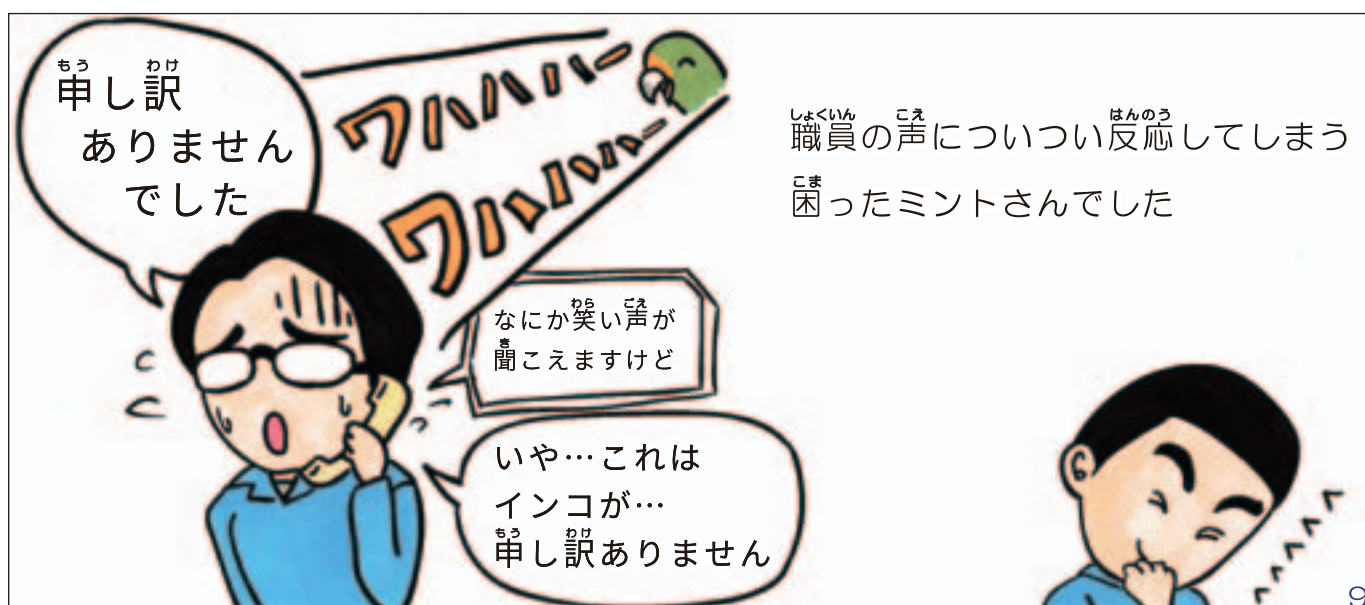
6



7



8



9



こども動物センターでは、移動動物園やなかよし教室など、外部の人とやりとりをするお仕事もしています。ミントさんは自分に話しかけてくれていると思い、それに対して一生懸命応えようとしていたのかもしれないね！

動物園再発見

第 48 回

スマトラオランウータン ボルネオオランウータン

オランウータンはマレー語で「^{もり}森の^{ひと}人」という意味です。

東南アジアのスマトラ島とボルネオ島の熱帯雨林に生息しており、知能が高くヒトに近い類人猿です。

スマトラオランウータン、ボルネオオランウータン、タパヌリオランウータンの3種に分類されます。

和名：スマトラオランウータン
学名： *Pongo abelii*
英名：Sumatran Orangutan

和名：ボルネオオランウータン
学名： *Pongo pygmaeus*
英名：Bornean Orangutan

分類： 霊長目ヒト科

IUCNレッドリスト：CR(絶滅の危機に最も近い近絶滅種)

※IUCN=国際自然保護連合

特徴

握力はヒトよりもはるかに大きく、指 1 本だけで枝にぶら下がることのできる

樹上で生活しているため腕は長く頑丈で、枝から枝へ移動しやすい体のつくりをしている

体重は
メスが約 40kg
オスが約 80kg

赤茶色の毛は樹上で見えづらいため天敵に見つかりにくい

食べもの

主な食べ物は植物です。果実や葉・樹皮・花・昆虫、まれに小型哺乳類を食べます。とべ動物園では、キャベツやリンゴなどの野菜や果物を与えています。

長い毛は皮膚を守ったり、雨で体が濡れたりしないように蓑のような役割をしている



強いオスの証

まわりのオスよりも自分が1番強い！と自覚を持ったオスのみ、両頬の横に「フランジ」と呼ばれるヒダが現れます。他のオスを威嚇するときや、メスをアピールするときに利用され、自分の姿を大きく見せる効果があると言われています。

7歳さいのとき デイディ 29歳さいのとき



大きな声(ロングコール)で鳴くようになるよ！

なにしているの？



オランウータンがよく布やカゴをかぶっているため、なにしているの？と質問をいただくことがあります。彼らが生息する熱帯雨林では頻繁に雨が降るため、体が濡れないように葉を頭や背中にのせて雨をしのぎます。動物園で暮らすオランウータンたちも頭になにかのせると安心するのかもしれませんが。道具を使いこなす知能の高さと、生きる知恵が感じられますね。



とべ動物園で暮らすオランウータン

スマトラオランウータン
デイディ♂



1996年4月28日生まれ
とべ動物園生まれ

ボルネオオランウータン
ハヤト♂



2010年5月25日生まれ
札幌市円山動物園出身

ボルネオオランウータン
ジェニファー♀



2011年3月13日生まれ
タマン サファリ インドネシア出身

Keeper's Note

☆バリーバとピースの近況報告☆

昨年の12月、バリーバは35歳、ピースは26歳の誕生日を迎えました。バリーバは現在、国内のホッキョクグマの最高齢個体で、国際血統登録簿で確認したところ、世界でも2番目に高齢な個体ようです。しかし、見た目からは高齢個体とは思えないほど若々しく、バリーバファンの皆さんからは、逆に若返っているのでは？との声も聞こえてきます。そして娘のピースですが、高齢期にさしかかったとはいえ毛並みも良く、全く歳を感じさせません。この親仔の若さの秘訣とは…？



若返っているようなバリーバ

まずバリーバですが、歯が非常に丈夫で、主食として与えている丸鶏の硬い骨も噛み砕いて食べています。そして、毎日広い運動場を歩くことで足腰が鍛えられ、歩行もしっかりしています。娘のピースの方は、昨年の1月から「NMN」(ニコチンアミドモノヌクレオチド)という若返りサプリ？を朝晩与えています。これはピースの老いを心配したファンの方からのご支援で与えることができます。さらに、飲み水は磁気活水にしています。こちらもピースの持病のてんかんに良いとのことで、ファンの方から磁気活性機の提供をいただきました。そして、ここで忘れてはならないのが、2年前からバリーバとピースに与え始めた「ハーブシールオイル」の存在です。ハーブシールオイルとは、タテゴトアザラシの脂肪から抽出したオイルで、最近の研

究ではホッキョクグマが本来食しているものを与えることが望ましいと言われており、野生のホッキョクグマはアザラシなどの脂肪を主食としていることから与え始めました。しかしこのハーブシールオイルはとても高価なもので、動物園的には「はいどうぞ」と簡単に購入できるものではありません。そんなある時、ピースの熱烈なファンの方から高額のご寄付をいただき、何かピースのために欲しいものはないかと園から打診され、購入することができました。効果的な事は分からずに与え始めたのですが、予想もしていなかった効果が現れました。それは、まず毛並みの変化です。バリーバもピースも見るからに毛並みが良くなり、一見すると毛の量も増えたように感じるようになりました。そして何といても、ピースが長年苦しんできたてんかんの発作が、ハーブシールオイルを与え始めてから2年以上起きていないのです。そこで私は、インターネットで『オメガ3脂肪酸』と『てんかん』という2つのワードで検索をしてみました。すると、なんと東京大学大学院で、てんかんの研究をされている先生の研究結果にヒットしました。



ピースはめでたく26歳を迎えました！

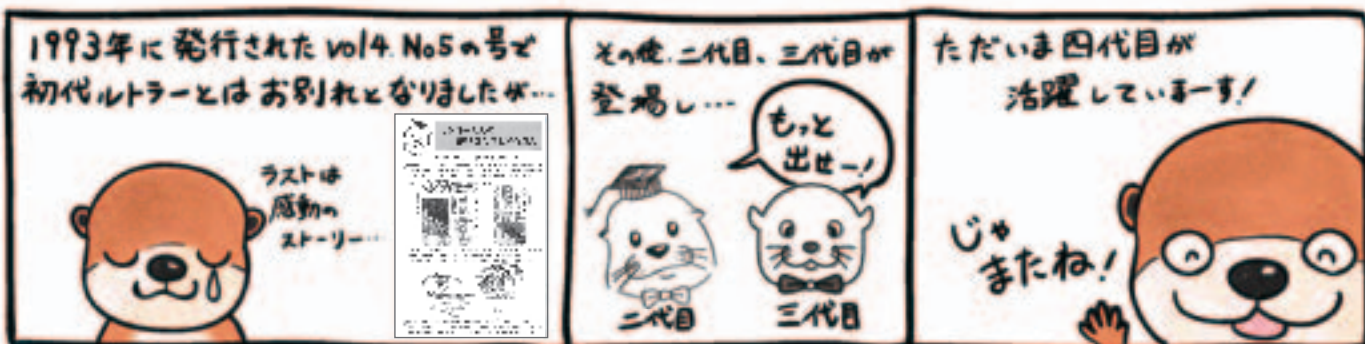
そこには、てんかんの持病がある犬に、オメガ3脂肪酸の一つである「DHA」を多く与えると、てんかん発作が抑えられたとありました。実はハーブシールオイルにはオメガ3脂肪酸が豊富に含まれているのです。東京大学の先生に連絡をとったところ大変興味を持ってくださり、現在は東京大学との共同研究へと、ステージが一段上がったところにいる状況です。このように、バリーバとピースは全国のファンの皆さんのおかげで、健康と若々しさを保っているのだと、担当者として心から感謝をしています。以上、バリーバとピースの近況報告でした。

(高市 敦広)



特別企画

ルトラーくんヒストリー



注意：このページは「ルトラーをさがせ！」の対象外となります。
間違えないように気をつけてくださいね！



会員さんから頂いた
お便りを紹介します♪

飼育レポート「マントヒヒの性皮腫脹について」赤ちゃんの名前ルウルウ（大切なもの）素敵な意味があるんですね。ルウルウの誕生から群れが変化、ビンゴの様子など、ルウルウを囲んだ写真は胸があたたかくなりました。又「性皮腫張」という言葉を初めて知りました。詳しい観察記録もあり、とても読みごたえ、見ごたえがありました。ルウルウ、健やかに大きくなってね。

 岡村恭恵さん

ルウルウが誕生し公開されてから、いつもただ1周して通り過ぎていたモンキータウンの滞在時間が、私・夫ともにぐんと伸びました。今回の飼育レポートを読んで「群れ」全体としてもっと見てみようと思えました😊とベ動物園が大好きです！♡

 大西あいさん

機関紙、いつも楽しく拝見しています。私は動物が大好きなので、ホームページで、動物達の元気な姿をみると幸せな気持ちになります。今年も動物達、そして職員の皆様が健康に過ごせることをお祈りしています。

 福西真美さん

あけましておめでとうございます。毎号読み応えのある内容で、飼育員の皆様が動物達の生活をより良いものにすべく日々努力されていること、生態の研究に真摯に取り組まれている姿勢が伝わります。読者にわかりやすく作ってくださり、本当にありがとうございます。今年もとベZOO、楽しみにしております。

 遠藤敦子さん

「とべ動物園でくらすベニガオザル」のコーナーで「ミト」が私と同じたんじょう日（11月30日）だったのがうれしかったです。そして「ミミ」は私がたまにかいている「本」の主人公の名前と同じです。主人公の「ミミ」はがんばり屋なので、「ベニガオザル」の「ミミ」もお母さんとしてがんばってほしいです。飼育員さんたちもがんばってください。



✧ 川上正行さん
✧ 川上咲良さん

週末はとべ動物園で楽しく過ごさせていただいてます。一週間頑張った自分へのご褒美です♡とべ動物園の動物たち最高!(*´▽`*)♡

✧ キューブ さん



ベニガオザルが国内ではとべ動物園だけと知りました。今度伺った際は注意して見てみたいです。ルトラーのイラストが毎回かわいらしくて楽しみです。どなたが描かれているのでしょうか。

🍋 マロン さん

みなさんが気になっていたルトラーの秘密がついに明らかになりましたね!! 「ルトラーをさがせ」クイズ正解者へのプレゼントは現在ルトラーのキャラクター缶バッジ（非売品）です。ぜひご応募ください♪（今後変更となる可能性があります）

とべ動物園より

かわいいパッケージのとべ zoo 牛乳をぜひとべ動物園でも販売してほしいです。

🐾 キョンピー さん

とべ zoo 牛乳かわいいですね! 販売できればいいのですが、牛乳は賞味期限が短く、取り扱いが難しいのです。

とべ動物園より

毎回、楽しみに拝読しています。

今回はルウルウが生まれてとべ動物園にまた新たな赤ちゃんが増えて嬉しく思いました。元気にすくすくと大人のマントヒヒ達にも見守られながら成長していて本当に良かったですね。

しろくまピースちゃんが12月に誕生日を迎えたこと本当に嬉しいです。是非、是非、ピースちゃんの誕生日会の時の様子や写真を会報誌で特集していただけると嬉しいです。ピースちゃんの1人のファンとして切望します!!

🐾 井上麻里 さん

担当者から
ピースの
最近のお話



ケーキを食べるピース



当日は大和ハウスリアルティ
マネジメント株式会社様から
ご協賛を頂き、26歳記念の
キーホルダーをお客様へ配布
していただきました!



いつもたくさんの
お便り・写真・イラスト
ありがとうございます!



このページではとべ動物園で働く職員を紹介しています



★ 動物園の中で好きな動物は何ですか？

理由も教えてください。

どの動物もそれぞれ魅力があって好きですが、今注目しているのは、昨年10月から仲間入りした、オリーブオコウモリです。スネークハウス内の夜行獣舎にいますが、前を通るときに、4頭がどこにいるのか、いつも探してしまいます。コウモリと聞くと、少し怖いイメージがあるかもしれませんが、顔はタヌキに似ていて可愛らしいです。

★ 今後やってみたいことはありますか。

大学生のときは、病理学研究室に所属していて、亡くなった動物の病理解剖や組織検査を行っていました。動物の死を無駄にしないように、今生きている動物にフィードバックできるように、診断技術を高めていきたいです。

★ 座右の銘を教えてください。

「初志貫徹」です。最初に決めたことは、最後までやり遂げるように心がけています。

★ その他とべ動物園でのおすすめポイント（動物）
などがあれば教えてください。

飼育員さんが作られている動物紹介の掲示物です。飼育員さんしか知らないことやエピソードが書かれているので、より詳しく動物たちのことを知ることができます。ぜひ動物とともにじっくりご覧になっていただきたいです。

★ 最後に意気込みをひとこと

知識、技術ともにまだまだ未熟ですが、動物たちが健康で楽しく生活できるように精一杯努めますので、よろしくお願いいたします。



★ 氏名と現在担当しているお仕事を教えてください。

くわばらゆうこ
桑原祐子と申します。獣医師として、園内動物の健康管理や治療、亡くなった動物の病理解剖や標本作製、野生傷病鳥獣の保護などを行っています。動物園勤務は初めてなので、先輩獣医師や飼育員さんに色々なことを教えていただきながら、日々経験を積んでいます。

★ 出身地と趣味を教えてください。

愛媛県松山市出身です。大学進学のために一度県外に出ましたが、就職を機に戻ってきました。趣味は動物園・水族館巡り、音楽鑑賞です。

★ 学生時代の思い出を教えてください。

大学生のときに、学部内で行われたイベント（ソフトボール大会など）に参加したり、研究室のメンバーとマラソン大会に出場したことがいい思い出になっています。

★ なぜ獣医師を志したのですか？

幼い頃から動物が好きで、家でウサギやハムスター、カメ、金魚、クワガタなどを飼育していました。もともと動物と関わる仕事がしたいと思っていましたが、飼育していた動物が体調を崩したり、亡くなったときに、獣医師の仕事に興味を持つようになりました。

読者投稿用紙

料金受取人払郵便

松山南局承認

1210

差出有効期間
2027 年 3 月
14 日まで

〒791-1190

伊予郡砥部町上原町 240

愛媛県立とべ動物園

愛媛動物友の会編集部 行



のりづけ②

のりづけ①

のりづけ③

きりとらせん

読者投稿用紙

(イラストや写真も同封できます)



読者の皆様の原稿をドシドシお寄せください。



Vol.37-4号でよかった記事、
つまらなかった記事は？



ルトラーをさがせの答え
(正解者のお名前は
Vol.38-1号でご紹介します)

答え ○ 匹



今後希望する記事・内容は？

(クイズの問題はP23参照)



例会でよかった点、つまらなかった点は？



例会で今後希望する企画は？

お
名
前

「広報誌とベ ZOO」のなかで名前を掲載されたくない場合はご記入ください。

ニックネーム：

会
員
番
号

★ 友の会 家族・個人

★ サポーター

No.

会員の方は会員種別に○をし、会員番号をご記入ください。

住
所

〒

電
話
番
号

※Google フォームから投稿することもできます。詳しくは 23 ページをご確認ください。



「とべZOO Vol-37 No.4号」の中に
ルトラーが隠れているよ！ぜんぶ見
つけて、その数を応募してね！

注意：このページと19ページのルトラーは含みません。

Vol.37-3 ルトラーをさがせ!! 正解者

★ 友の会 会員	田中 早苗 さん
★ 友の会 会員	マロン さん
★ 友の会 会員	岡村恭恵 さん
★ 友の会 会員	田中早苗 さん
★ 友の会 会員	森 幸子 さん
★ サポーター	k さん
★ サポーター	井上麻里 さん
★ サポーター	遠藤敦子 さん
★ サポーター	大西あい さん
★ サポーター	川上正行・川上咲良 さん
★ サポーター	キューブ さん
★ サポーター	キョンピー さん
★ サポーター	すぎもとみな さん
★ サポーター	村井桂子 さん
★ サポーター	山崎亜紀 さん
★ サポーター	福西真美 さん

正解の方々にはオリジナル
缶バッジをお送りします。

☆前回の解説とこたえ



- ・「飼育レポート」でマントヒヒになりきる
- ・「わたしの野帳」のタイトルバナーにまぎれる
- ・「動物園再発見」でベニガオザルの真似をする

正解は3匹でした

応募要項

読者投稿用紙の解答欄に「ルトラー
をさがせ」の答えを記入して郵送す
るか、グーグルフォームもしくはメー
ルでお便り下さい。

3月10日までにご応募ください。

二次元バーコードを
読み込んでね！



開園案内

- 開園時間 — AM 9:00 ～ PM 5:00
入園午後 4:30 まで
- 休 園 日 — 毎週月曜日
(祝日の場合は翌平日)
年末年始
(12月29日～翌年1月1日)
- 入 園 料 — 一 般 (18歳以上) 600円
高校生 (15～17歳) 200円
小中校生 (6～14歳) 100円
(30名以上の団体2割引)
- ホームページ — <https://www.tobezoo.com/>
- メールアドレス — info@tobezoo.com

とべZOO Vol-37 No.4号

令和8年発行

編集・発行人／公益財団法人愛媛県動物園協会
〒791-2191

愛媛県伊予郡砥部町上原町 240

印 刷／公益財団法人愛媛県動物園協会

編集委員長／宮内 敬介

編集副委員長／池田 敬明

編 集 委 員／宮越 聡・里永 萌・村上 郁

八木 綾菜・坂本 響子・村上 ひなの
白湯 綾・横手 凱



ボルネオオランウータン



愛媛県立とべ動物園

〒791-2191 愛媛県伊予郡砥部町上原町240

TEL089-962-6000

動物取扱業に関する表示

申請者の氏名：公益財団法人 愛媛県動物園協会

事業所の住所：愛媛県伊予郡砥部町上原町240

登録番号：動愛第441号（展示）、動愛第994号（販売）

動愛第995号（保管）、動愛第996号（貸出し）

登録年月日：平成19年5月31日（展示）

平成29年5月31日（販売、保管、貸出し）

事業所の名前：愛媛県立とべ動物園

動物取扱業の種別：展示、販売、保管、貸出し

動物取扱責任者の氏名：椎名 修

登録の有効期間の末日：令和9年5月30日